

# あさな!

令和2年6月10日(水) No.8

文責：矢田部 瑞穂

## 今年も花いっぱいの浅内小!



4年 野沢さん

4年 原田さん

6月3日(水),今年も浅内地域保全隊の全面協力により「植栽活動」が行われました。学校までの坂道が「花の道」となり,前庭も花でいっぱいになりました。今年,ご家庭から16名もの皆様がお手伝いくださり,例年以上に仕上がりがかつたのではないかといいました。ご協力,ありがとうございます。

浅内小学校ではもう10年以上も続いているこの活動。毎朝花に水掛をしてから校内に入る子どもたち。とても楽しんで頑張っている姿に感心します。どうぞフラワーロードを通して花いっぱいの浅内小学校へおいでください。

### 瞳かがやく浅小っ子コーナー



6月4日(木),植栽活動の翌朝7時30頃に私も到着し,花に水を掛けようとしてジョウロを持つと,その横を通った3年生の池田さん。私より早く来ていたのでしよう。すでにジョウロを持ち,私に気付きもせず,いそいそと小走りで花壇に向かいます。その時,「早く水あげなきゃ,のど渴いたでしよう。」と小さくつぶやいた声が聞こえました。あまりにもすてきなその言葉に,私は思わず池田さんを追いかけて,「今の独り言聞こえたよ。すてきだね。」と話しかけると,写真のような笑顔で,照れたようににっこり笑ってくれました。浅内小学校の子どもたちは,大人になったとき,きっと毎朝花に水掛をしたことを思い出すでしょう。優しい気持ちと一緒に…。



3年 池田さん



理科室の前に,3年生と大高教頭先生が大事にしている「青虫君」発見!高橋るり子先生が持ってきてくれたキャベツに見事に卵がつき幼虫に変わりました。この後どんな変身をするか3年生はわくわくどきどきの毎日です。

写真右から:5年  
平川さん  
保坂さん  
大塚さん

平川さんの  
六月八日の日記  
より



ぼくはいつも学校のお花に心をこめて水あげをしています。浅内小学校を車で通った人たちに気持ちよく通ってほしいからです。みんなで心をこめて植え,心をこめて水をあげてたくさんきれいに長くさいてほしいです。地域のおじいさん,おばあさんみんなに美しい花を見せてあげたいです。



# 朝の浅小放送局開局!

今年度から「朝の放送」を始めました。朝、花に水掛のあと放送当番は大変。けれども、朝の放送から流れる音楽を聴くと、今日も一日頑張ろうという気持ちになります。放送委員の皆さん、全校のみんなに元気をありがとうございます!



火曜日は、池田さん(6年)と菊地さん(5年)の2人が頑張っていました。写真は、菊地さんがアナウンス中にパチリ!

## 自己有用感の醸成

今年度の教育目標は学校報第1号でもお知らせしておりますが、「学ぶ楽しさ 生きる喜び 瞳かがやく 浅小っ子」としました。4月にこの学校に赴任して、目の前の子どもたちの一年後の姿をイメージしたときに、一番育てたいと感じたのが、「自己有用感」でした。「自己有用感」は、他人の役に立った、他人に喜んでもらえた、…等、相手の存在なしには生まれてこない点で、「自尊感情」や「自己肯定感」等の語とは異なります。他者からの評価やまなごしを強く感じた上で育まれるということがポイントです。そのために、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を図りながらも「人との関わり」を多く取り入れていきたいと考えております。2か月が過ぎました。再度、教職員一同「自己有用感の醸成」を念頭に、日々頑張っています。ぜひ、ご家庭でも子どもたちが頑張ったときには大いに褒めてあげてください。そして、地域や保護者の皆様と学校の教職員の関係におきましても、「よきを認めあえる」関係となるよう努力して参ります。浅内小学校は今年度、子どもも大人も「自己有用感の醸成」を図ります!

## 感染症対策

現在も秋田県では感染者が増加していませんが、学校では、養護教諭の田中あき子先生を中心に、常に換気をしたり消毒をしたりしております。マスクの着用については、適宜外すよう指示しています。子どもたちは毎日汗だくになり遊んだり、学習したりしているので、熱中症対策もかねての指導です。行事等につきましては、PTA執行部と学年部長にはメールでお願いしておりますが、当面、親子レクは開催しない方向で考えております。ご了承ください。 ※下は、放送室も常に換気中の写真

## 瞳かがやく浅小っ子コーナー



3年 三浦さん

6月5日(金)に教職員の研修のため、指導主事が来校しました。私は校長室にいたのですが、玄関からこんな声が聞こえてきました。その来客お2人に「ようこそ!浅内小学校へ。来てくれてありがとうございます。」と。あまりにもすてきな出迎えに、玄関に出てみると、3年生の三浦さんが丁寧に挨拶をしています。指導主事の先生方も

驚き、「素晴らしい子どもさんですね。」と褒めてくださいました。私も教員生活が長いのですが、そのような言葉で来客を出迎えた子どもは過去にいなかった気がします。

三浦さんは、誰に対しても心を開いて、楽しいお話をたくさんしてくれます。その日は写真を撮ることができなかったのですが別の日をお願いすると、このポーズです。本当に最高です!

